

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。本研究の解析開始（2026年8月1日）までの間に研究参加の拒否の申し出があった患者さんの情報は、本研究に用いせん。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	早期胸膜中皮腫に対する集学的治療後、病理学的 upstaging と予後との関係に関する研究
研究責任者氏名	舟木壮一郎
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	研究実施許可日～2027年3月31日
研究対象疾患・診療科名	疾患名：胸膜中皮腫 / 診療科名等：呼吸器外科
研究対象期間	受診日：西暦 2012 年 9 月 1 日 ～ 2026 年 4 月 30 日
研究に用いる試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ） 取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	胸膜中皮腫は、胸膜に発生する悪性腫瘍であり、予後不良な疾患です。近年では、抗がん剤治療や手術を組み合わせた「集学的治療」が行われていますが、どのような患者さんが手術を含む治療から十分な効果を得られるかについては、まだ十分に明らかになっていません。本研究では、術前画像検査で早期病変（TNM 第 9 版 cT1N0M0 Stage I）と診断された胸膜中皮腫患者さんを対象に、術前化学療法後に胸膜切除／肺剥皮術（P/D）を受けた症例について検討します。特に、術前診断と術後病理診断との差異（病理学的 upstaging）の頻度や、その後の治療成績との関連を明らかにすることを目的としています。本研究により、胸膜中皮腫に対するより適切な治療選択や、術前診断精度の向上につながることを期待されます。
研究の方法	2012 年 9 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院で胸膜中皮腫に対して術前化学療法後に胸膜切除／肺剥皮術（P/D）を施行した患者さんのうち、術前に TNM 第 9 版 cT1N0M0 Stage I と診断された患者さんを対象とします。 対象となる患者さんについて、診療録（カルテ）を用いて 2026 年 4 月 30 日までの以下の情報を収集します。 年齢・性別などの患者背景、術前画像検査所見、術前治療内容、手術内容、病理診断結果、術後経過、再発の有無 本研究は過去の診療情報を用いて行う後方視的観察研究であり、新たな検査や治療を追加で行うことはありません。また、研究に使用する情報は個人情報を加工し、個人が特定されないよう十分に配慮して実施します。

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：兵庫医科大学呼吸器外科 担当者氏名：近藤展行 [電話] （平日 9～17 時） 0798－45－6885 （上記時間以外） 0798－45－6111 0798－45－6885 研究に対する問い合わせは呼吸器外科講座とし、本学ホームページに研究実施の旨と一緒に記載します。